雲出 北陵月報

No.411
令和元年11月29日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

創立110周年記念式典　華やかに挙行

記念特別演奏会、美術展・写真展・学園回顧展に多数来場

創立記念日を控えた11月2日、島根県総務部次長三島正司様、出雲市総務部次長重富圭二様をはじめ、平素本校がお世話になっている多くのご来賓の皆様をお迎えし、創立110周年記念式典が出雲市民会館において盛大に挙行された。

水谷勲理事長は式辞の中で、「明治42年、水谷キワ初代校長と三人の生徒で産声を上げた本学園も、多くの方々のご支援で今日を迎えることができた」と謝意を述べた。また「人間の特徴は多様性にあり、次代を担う生徒には能力や才能と徳性を伸ばして欲しい」と語り、魅力ある学園を目指し、さらに精進を続けると締めくくった。

水谷厚志学校長からは、「生徒諸君の真摯な努力で、文武両道の立派な学園に成長したことを誇りに思うとともに、今後一層『柔しく剛く　明るい学園』づくりを目指し、高い使命感を持って次代に必要とされる若者の育成に努める」と、硬い決意表明があった。

《永年勤続（30年）表彰》
菅田修司（中学教頭）松本克己（高校教頭）
陶山浩史（教　諭）酒井和隆（教　諭）

創立110周年記念特別演奏会

11月2日、本校創立110周年記念式典に引き続き、日本歌曲歌唱の第一人者である青山恵子先生をお招きし、記念特別演奏会を開催した。長谷川幹人先生（エレクトーン）と佐藤葉月先生（ピアノ）による伴奏で、「里の秋」や「荒城の月」、「赤いくつ」など、日本の美しい歌曲を歌っていただいた。

また、賛助出演の北陵認定こども園のかわいい園児達による歌が披露され、「虫の声」では青山先生と一緒に元気一杯の声を響かせた。最後のステージでは合唱部と青山先生の共演により「スタンド・アローン（NHKドラマ坂の上の雲）」が歌われ、美しい歌声を高らかにホールに響かせた。

青山恵子先生

美術展・写真展・学園回顧展開催

11月7日から3日間、創立110周年を記念し、美術展・写真展・学園回顧展を開催した。多くの来場者があり、当時を懐かしむ姿や作品を丁寧に鑑賞される姿が見られた。

美術展

学園回顧展

写真展

男子バスケットボール部

夏のインターハイに続き ウィンターカップへの連続出場決定

島根県高等学校バスケットボール選手権大会 兼 ウインターカップ2019島根県予選会

時 11月1日～3日
於 県立浜山公園体育館

2回戦　本校104－63島根中央
準々決勝　本校107－47松江高専
準決勝　本校106－53松江北
決　勝　本校96－53松江西

2年連続10度目の優勝

○大会総評

今年も決勝戦は松江西高校との対戦であったが、落ち着いたプレーで試合を制し、インターハイに続き、2年連続の全国大会切符を手にすることができた。

これで4大会連続の全国大会出場になるが、初戦突破を目標に、チーム一丸となって上位進出を目指して戦って行きたい。

最後になりましたが、理事長先生、校長先生をはじめ、保護者の皆様、OBや女子バスケットボール部、その他たくさんの方々から多くの声援をいただき誠に有難うございました。（顧問　手島幹人）

2年連続でウィンターカップに出場する男子バスケットボール部

合唱部

第72回全日本合唱コンクール全国大会 高等学校部門Aグループ銀賞

時　10月26日
於　岡山シンフォニーホール

本年度課題曲として「蜂が一ぴき…」（無声慟哭から）を選んだ。この曲は宮沢賢治の詩で、亡くなった妹とし（とし子）の魂の行方を求めた旅を描いた「春と修羅」の「オホーツク挽歌」の章に収められている。演奏するにあたり、言葉の意味を考え、曲の構造を理解しながら表現しなければならなかったため難易度の高い曲であったが、見事な演奏を披露した。

また自由曲には「ねぼすけぼうず」（混声合唱とピアノのためのきんぽうげの日々から）を選んだ。合唱・ピアノともに非常に難易度の高い曲であったが、説得力のある音楽の流れを感じられるよう日々練習を重ねた。

結果は銀賞だったが、昨年よりよい結果を出すことができ、達成感を得ることができた。今後も更なる高みを目指して日々精進していきたいと思う。

これまで支えていただいた保護者の方々や卒業生の方々、地域の皆様に感謝申しあげます。

（顧問　太田裕子）

卓球部

島根県高等学校新人卓球大会

時　10月25～27日
於　島根県立体育館

〈男子団体〉【決勝リーグ】優勝（3年連続10回目）

本校　3－0　大田
本校　3－0　松江南
本校　3－0　明誠
本校　3－0　出雲西
本校　3－1　松徳学院

※中国選抜出場権を獲得

団体優勝メンバー

シングルス優勝の山本歩

〈男子シングルス〉
優勝　山本　歩（2-2北陵）
2位　原田哲多（1-4北陵）
3位　三村悠斗（2-4北陵）

○大会総評

団体戦、個人戦ともに優勝することができたが、全国大会で勝ち上がるためには、まだ技術の正確性や安定性が足りない。日々の練習で課題を克服していきたい。

（顧問　古瀬泰之）

ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時　10月25日～27日
於　石見海浜公園テニスコート

〈団体戦〉

本校　③－0　三刀屋
本校　②－0　浜田

ベスト4リーグ

本校　③－0　松江北
本校　③－0　大社
本校　②－1　松江工業

優勝

※中国選抜出場権を獲得

〈個人戦〉

3位　山崎陽登（2-5斐西）・杉本啓佑（2-5羽須美）組
　　安田　稜（2-5大社）・白築椋真（2-5河南）組
ベスト16　奥井寛太（2-5出南）・神田好太郎（1-3浜東）組

※3ペアが県高校インドア選手権への出場権を獲得

○大会総評

個人戦で2ペアが準決勝で敗退し、難しい状況で団体戦を迎えた。優勝決定戦となった松工戦では、リードされる場面もあったが、粘り強く戦い、6年ぶり3回目の優勝となった。今後、全国選抜の予選でもある中国地区選抜大会に向けて更に精進していきたい。大会期間中は多くの方に応援に来ていただき有難うございました。

（顧問　佐々木雄志）

サッカー部

高校サッカー選手権大会

時　10月25日
於　出雲工業高校グランド

◎1回戦

本校　1［0－2 / 1－0］2　三刀屋高校

○大会総評

今年最後の大会となり、チーム全体がとても緊張していた。序盤の失点から相手に試合のペースを握られてしまった。後半はペースを取り戻し、攻め続けて1点は返したが悔しい敗戦となった。

今年度は総体後も多くの3年生が残ってくれたが、残念な結果となった。この思いを忘れずに次の新人戦に向けて改めてトレーニングに励みたい。最後になりましたが保護者の皆様をはじめ、多くの方々にご声援いただき、有難うございました。

（顧問　鈴木雄介）

テニス部

全国選抜高校テニス県予選

時　10月26日
於　浜山公園

〈男子団体〉

2回戦　本校　1－④　出雲西

○大会総評

この大会に向け、遠征を積み重ねてレベルアップしたが、勝利に結びつけることができなかった。この悔しさを今後の大会にぶつけたい。

（顧問　石川剛亘）

女子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会

時　11月2・3日
於　県立浜山体育館

二回戦　本校　103－45　出雲農林
準々決勝　本校　71－54　松江東
準決勝　本校　71－81　松徳学院

3位

○大会総評

準決勝の松徳学院との試合では、前半何とか頑張るものの、後半相手チームにリバンドを支配され、徐々に点差をつけられた。しかし、最後まで3年生を中心に本校らしい粘りあるプレーを随所に見せた。当日は保護者の皆様をはじめ、多くの方から応援いただき、有難うございました。

（顧問　篠原勝利）

なぎなた部

第46回中国なぎなた選手権大会

時　11月3日
於　岡山県総合グラウンド体育館

《演技競技の部》

〈中学生の部〉
2位　廣瀬米香（中2塩冶）・手銭優果（中2大社）

《個人試合の部》

〈高校生の部〉2位　日野愛理（3-2出南）
　　3位　玉木羅夢（2-3平田）
〈中学校の部〉2位　廣瀬米香
　　3位　神野真輝（中1-2北陽）

○大会総評

この大会では中・高生ともに良い結果を残すことができた。今後、より一層稽古に励みたい。

（顧問　井上美代）

美術部

出雲地区絵画コンクール

時　10月25日
於　出雲大社

出雲地区から10校、94名の美術部員が集まり、絵画コンクールが行われた。前日の雨模様から一転、絶好の写生日和となり、油絵や水彩で風景画の制作に取り組んだ結果、本校からは18名が入選した。

写真部

第47回島根県高校写真展審査会 3年の部第2席、1・2年の部で審査員特別賞と奨励賞受賞

今年度の審査会では、福島悠太（3-1 斐西）が「3年の部」で第2席を受賞し、有終の美を飾った。「1・2年の部」では、山根七海（2-1 平田）が審査員特別賞を受賞し、上位8位の位置につけた。全国大会出場にはあと一歩及ばなかったが、全国で勝負できるクオリティを目指し、部員全員が最善を尽くしたことは、今後の成長の糧になると信じている。挑戦させてもらっていることに改めて感謝し、次に進みたい。

【3年の部】
〈第2席〉「おっす」福島悠太
【1・2年の部】
〈審査員特別賞〉「眼光」山根七海
〈奨励賞〉「さらっ」藤原香織（1-3 大社）
〈奨励賞〉「18の夏」楫野莉菜（1-4 出三）
（顧問　村上　学）

インターアクトクラブ

三瓶の自然を学ぼう！

時　11月3日
於　大山隠岐国立公園　三瓶山・三瓶小豆原埋没林公園

出雲南ロータリークラブが主催した「三瓶の自然を学ぼう！」に、インターアクトクラブ生徒16名が参加した。

出雲商工会議所からバスで移動し、国立三瓶青少年交流の家へ向かい、開会式後に3つの体験学習をした。

自然観察では、三瓶山周辺の山林をガイドさんに案内していただいた。三瓶小豆原埋没林公園では、土石流に埋もれていた大木が地下に展示してあり、自然の偉大さを学んだ。また、ドローンから撮った映像を見ることもできた。

三瓶の自然を学ぶ良い機会となった。

改組新第6回日展

美術・CGデザインコース主任 飯塚康弘教諭　初の特選受賞!!

時　11月1日～24日
於　国立新美術館

今年度の洋画部門には全国から1677点の応募があり、飯塚康弘教諭が出品した作品「陽のあたる階段」が初の特選に輝いた。特選はわずか10点の選出であり、大変おめでたい受賞となった。

「陽のあたる階段」

避難訓練

時　10月29日

昨年に引き続き、地震を想定して避難訓練を実施した。今回の訓練では、避難所要時間が大幅に改善された点が高く評価できる。また当日は松江地方気象台の方に加え、日本赤十字社の職員の方からもスライドを使った講演をしていただき、大変参考になった。

公開授業（新任者研修）

時　10月25日

本校の新任教員である河野高幸先生（中学1年2組　科目　英語Ⅰ）、西田奈保美先生（中学2年　科目　国語）による公開授業が行われた。

こうした公開授業は、教科、学年等の垣根を越えて、授業姿勢及び技術・工夫など、授業力を高める目的で、毎年実施されている。

先生方は緊張感を持ちながらも若さあふれる授業を展開した。その後、授業者を交えて講評会を開き、意見交換をした。

企業ガイダンスを開催

時　11月11日
於　本校黎明ホール

本校キャリア教育の一環として、2年生全員を対象として「地元企業ガイダンス」を開催した。本年度は25社の企業に参加いただき、生徒たちは各ブースを移動しながら一人あたり4社ずつ説明を聞いてまわった。生徒たちにとって今後の進路に役立つ、良い機会になったのではないかと思う。

最後に、引き受けていただいた企業の皆様、また島根県商工労働部雇用政策課、出雲地区雇用推進協議会の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼申しあげます。誠に有難うございました。

建設業現場を見学

時　10月30日

本校生徒23名が建設業施設見学などを行った。まず出雲河川事務所で斐伊川放水路事業の説明を受け、広場にて大型ダンプ及びショベルカーを試乗体験することで、興味を示したようである。昼食後移動し、大田の高速道路建設現場を見学した。この事業を通して、生徒は多少なりとも建設業に関心を持ったように思う。

第25回出雲北陵高等学校 英語レシテーションコンテスト

時　11月4日
於　中高棟ホール

島根大学教育学部附属義務教育学校の皆さん

第25回目となる英語レシテーションコンテストを開催した。今回は島根大学医学部のリン・マーフィー先生を審査委員長としてお迎えし、県内各地計24の学校から小学生15名、中学生51名の参加があった。今大会の受賞者は次の通り。

＊団体賞（出雲市長杯）
島根大学教育学部附属義務教育学校

＊個人賞
〈最優秀賞〉
小学校の部　梶谷　莉央（湖陵小6年）
中学校の部　春木菜々子（島大附属8年）
〈優秀賞〉
小学校の部　立花　凌（湖陵小5年）
中学校の部　伊藤　健太（斐川西中3年）
長野サユリ（出雲三中2年）
渡邊カミリ（出雲三中3年）
〈奨励賞〉
小学校の部　原　千尋（鰐淵小5年）
水谷　駿斗（今市小5年）
中学校の部　石飛　凪紗（出雲三中3年）
江角　惇男（斐川西中3年）
片岡　瑞彩（島大附属7年）
福山　陸（島大附属8年）
松本　葵（大田一中3年）

小学校の部受賞者の皆さん

中学生の部受賞者の皆さん

中学校

卓球部

第55回出雲地区中学校新人卓球大会

時　11月6日
於　斐川第一体育館

〈男子団体〉2位
〈男子シングルス〉
優　勝　佐藤卓斗（中2塩浜）
3　位　小野泰和（中1鏡山）
ベスト8　森口　諒（中2寒川）

令和元年度全日本卓球選手権大会カデットの部

時　11月8～10日
於　維新大晃アリーナ

〈U－14　男子シングルス〉
ベスト32　佐藤卓斗
〈U－13　男子シングルス〉
ベスト32　小野泰和

東京・大阪・名古屋オープン（カデットの部）島根県予選大会

時　11月16日
於　平田体育館

〈男子シングルス〉
優　勝　佐藤卓斗
2　位　小野泰和
7　位　濵田都希（中1-2浜村）

○大会総評
各種大会で思うような成績が出せないでいる。成長のチャンスと考え、チーム全体の意識を高めて練習に励んでいきたい。（顧問　相場翔太）

女子バスケットボール部

出雲地区中学校新人バスケットボール大会

時　11月14日・15日
於　松江市総合体育館

一回戦　本校　38－59　湖南中

○大会総評
前半からミスが多くあり、苦しい展開であった。後半徐々に相手チームに走られ、点差を広げられた。この悔しさを忘れず、この冬しっかりと練習に励みたいと思う。当日は保護者の皆様からご声援いただき有難うございました。（顧問　篠原勝利）

出雲科学館　理科学習

時　10月29日

出雲科学館において、中学1年生の今年度2回目となる理科学習が実施され、生徒39名が「物質の姿と状態変化」のテーマで学習した。1時間目は液体窒素中で二酸化炭素が固体に、また窒素と酸素が液体にそれぞれ状態変化する様子、あるいは高温で加熱したアルミニウムや食塩が融解する様子などを観察し、物質によって融点・沸点が決まっていることを確認した。

2・3時間目はグループ別で水とエタノールの混合物をガスバーナーで熱した後、融点の違いを利用して蒸留して出てきた物質について考察する実習を行った。

生徒たちは内容の濃い学習体験を通して単元の理解をより深めることができた。

美術部

第48回JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクール 荒木天花（中2澱）が金賞を受賞

第48回JA共済小・中学生交通安全ポスターコンクールに本校から応募したところ、荒木天花の作品が全500点の中から中学2年の部で金賞に選ばれた。荒木の作品は今後全国コンクールに出品される予定である。（顧問　田部温子）

中学1年生　ふるさと学習

時　11月11日

『国宝松江城を中心としたふるさと島根の歴史巡り』と題し、ふるさと学習を実施した。事前に学習する内容や行程、施設など、生徒たち自身で活動計画を立て、班で行動した。当日は小雨の降る中、生徒たちは松江市内の歴史的建造物を訪れるとともにその歴史的背景を知り、深まりのある学習ができた。今回、ふるさと島根の歴史について学習することができたことはもちろんだが、班別活動を通して、一人ひとりの役割や責任感も学ぶことができた。この成果は、来年2月にある総合的な学習の時間の発表会に披露することになるが、まずは今回の学習で経験したことを今後の生活に生かして欲しい。

中学2年生　職場体験学習

時　11月11・12日

出雲市内15事業所のご協力により職場体験学習を実施した。

体験に向けて、職場の事前調査や礼儀・マナーの確認、また生徒自らが電話連絡をし、体験先の担当者の方と打ち合わせを行うなど、念入りに準備を進めた。

体験当日は、普段とは異なる環境に生徒たちは緊張の面持ちであったが、体験先の方々の温かなご対応のお蔭で、最後までやりきることができた。また、体験終了後に生徒たちに感想を聞くと、「疲れたけど楽しかったです」、「仕事の大変さを知ることができました」など、働きがいや責任感について、新たな発見ができた様子であった。

出雲ケーブルビジョンにて

歯科医院にて

第3回合同道徳

時　11月18日（7限）
講師　水谷勲理事長

全校生徒を対象に水谷勲理事長の合同道徳が実施され、生徒たちは創立者水谷キワと水谷喜次郎の略歴や水谷キワの教えである処世十訓について学び、本校の校訓である「柔しく　剛く」への理解をより深めることができた。中でも処世十訓の「真剣の前に不可能なし」「長所とまじわれば悪友なし」「己に克って人にはゆずれ」などに特に感銘を受け、「物事が上手く行かないとき、確かに真剣にやっていなかった気がする。これからは意識していきたい」「人の欠点を見つけたら、その倍、相手の長所を見つけようと思った」「自分のことを一方的に優先するのではなく、相手のことも考えて行動したい」など、物事に挑戦する姿勢や人との関わりについての感想が多く見られた。

出雲市・カラヨキ市相互派遣交流事業

出雲市とフィンランド・カラヨキ市の相互派遣交流事業で、カラヨキ市立高等学校1年生のノーラ・シーポラさんが来校した。今夏にフィンランドを訪れた荒木天花さん（中2社大）宅に10月18日から26日までホームステイし、本校には23日と25日の2日間登校し、中学2年のクラスに入り、生徒と同じ授業を受けた。ノーラさんは昨年も来校しており、北陵に来るのはこれで2回目となった。

オーストラリア語学研修旅行日記

学年 中3年生

11/3～11/11

☆現地での英会話授業

☆サーファーズパラダイスにて

☆バディの生徒と集合写真

☆ブリスベン市内を観光

☆バディとの記念写真

☆発表の様子

中学3年生は11月3日から11日にかけて、オーストラリア語学研修旅行を実施した。今回の研修旅行では、初めてグローブスクリスチャンカレッジを訪問したが、一人一家庭へのホームステイをし、生徒にとってとても貴重な経験をすることができた。生徒たちにはこの研修旅行で体感したことや学んだことを今後の成長に繋げてくれることを期待している。

（中3担任　鈴木雄介）

オーストラリア語学研修旅行に参加して

この研修旅行で、外国人の方とコミュニケーションの取り方やリスニングの力が少し上がったと思います。また、自分の知らなかった世界を見ることができて、自分がいつも見ている世界はなんてせまいのだろうと思いました。でも、その分、これからまだまだ楽しいことがある、まだまだ広い世界を見てみたいという大きな希望にもなりました。

また、自分が今まで教わってきた英語を、実際に話すのはとても難しかったです。ネイティブの英語を実際に体験してみて、もっともっと英語を頑張らないといけないなと思いました。私はホストファミリーのみなさんからとても気をつかってもらったので、いつかホストファミリーに恩返しをしたいと思いました。

今回の研修で私は自分の力不足、人の優しさ、世界の広さを知ることができました。これを忘れずに、今後の学校生活につなげていこうと思います。

衣笠ことね（中3岐久）

作品と研究

中学一年生は国語の授業で、比喩や反復、体言止めなどの表現技法を学びました。今回はそうした技法を使って作った詩をいくつか紹介します。

『金』

小野泰和（中1-1 鏡山）

人はたった一枚のうすっぺらい紙に
ふりまわされる

人はこの紙のために動く
したいことができなくなる

こんなものなくなってしまえばいい

『時計』

陰山璃乃（中1-1 西野）

3本のリレー選手達がまるい会場で
みんなが応援している

だけどゴールがみつからない

『あっあ～かゆい　私は黒板』

郷原稟人（中1-1 平田）

いつも誰かに体をかかれる

そこっ!!
そこっ!!

そこじゃない
そこじゃない

もっと右下
もっとまんなか

と、おもいつつも全部かいてうめてくれる、
そしてしまいに黒板消しでブラシをしてくれる

『川』

山根朔弥（中1-2 西野）

毎日ずっと流れてる

止まらずずっと流れてる

時代をこえていつまでも。

『さくらんぼ』

宗宮　証（中1-1 大津）

家の庭
ようやくできた
白い宝石
まだかな
まだかな

待ちに待ってた
真っ赤な宝石
早く摘みたい
まだかな
まだかな

ドアの外
聞こえてくる
鳥のさえずり
外で待ってた
はだかの木

まだかな
まだかな

『風とタンポポ』

内藤亮輔（中1-2 北陽）

タンポポだ

あっ

綿毛が飛んでいった

この綿毛は　いずれ　花になる

誰かの心に　花を咲かせられる

風でありたい

今月の1枚

出雲地区絵画コンクール　入選作品

天喰　龍生（1-6 出三）